



札幌敬老パスを守る連絡会の総会（2月24日）で喜びをわちあいました

カード追加交付

余ったカード返金

みんな喜んでいきます

敬老パスを改善＝札幌市

2月24日、札幌敬老パスを守る連絡会総会が開かれ35人が出席。参加した誰もが「よかった」と喜んでいました。札幌市が、03年6月に「見直し」を表明して05年4月から新制度をスタートさせるまでも、実施時期の延期、上限額の引き上げ、運用面での改善など成果を上げてきた敬老パス運動ですが、今回の改善には格別な思いがありました。

利用者から「おちおち外出できない」と批判の声があがったのは当然でした。そして、一回カードを購入（30月）したら追加購入も、余っても返還できないことになったのです。このこと

新制度には重大な欠陥が

新制度の特徴は二つあります。5段階の上限と二つの負担です。以前は無料バス制度



敬老パスの改善を訴えてきました

札幌市が提案した「新敬老パス」制度

利用上限	1万円	2万円	3万円	4万円	5万円
利用者負担	1千円	3千円	6千円	8千円	1万円
負担割合	10%	15%	20%	20%	20%

- 有効期限：1年間（4月1日～翌年3月31日）
- 年2回交付：3月一斉交付
- 新たに1万円の専用カード作成

- 改善内容**
- ①追加交付
 - 3月の申請で4万円までのカードを受け取った人は、9月の交付時に1回目と合計で5万円以内であれば追加で申請し交付を受けられます。
 - ②余ったカードの返金
 - 手つかずのカードが残っていたら返金してもらえます。

「改善します」への変化が

「見直しに賛成」した議員のなかからも「改善が必要だな」という声も出るようになってきました。そして、ついに昨年11月、市独自で、000人アンケートを実施。それを受けたかたちで、市長は記者会見で、二つの改善を約束したのです。

私たちは、実態アンケートと要求をとり取り、市長への団体要望書・個人請願書提出運動。議会へは、全議員にアンケート結果と市長要望書等を渡し懇談会をしました。

当局との交渉は6回にもものほり、マスコミも注目しました。強い改善の声が広がりをもたせ、老人クラブの例会でも、市長の各区タウントーク（市長

「運動して良かった」とみんな感激

「利用限度額以内であれば追加交付する」「余ったら返還でき

る」という当面する二大改善要求が実現した瞬間でした。

北区守る会の役員で、老人クラブの役員もしている佐藤勢津子さん（75）は、「うれしいです。中心街まで遠くまで交通費もかかります。会員やクラブのみなんでも喜んでいきます。でも、無料に戻してほしいですね」とうれしさで期待をかみしめていました。（佐藤宏和通信員）

「生活と健康を守る新聞」（全生連発行：3月12日付）に、札幌敬老パス改善の内容と、札幌敬老パスを守る連絡会総会の記事が載りましたので、紹介し、ニュースとさせていただきます。

記事を送ったのは佐藤宏和道生連事務局長（敬老パスを守る連絡会事務局長）です。

Fax通信 06年3月8日

札幌敬老パスを守る連絡会

白石区菊水3条3丁目 井上ビル 札幌社保協気付
TEL 823-0867 Fax 821-3701
ホームページ
www.sapporo-syahokyo.jp/syaho_pass.htm